

測量・設計業務の「競争参加資格確認申請書」及び総合評価落札方式における「技術提案書」の提出にあつては、次のチェックリストを参考にしてください。

### 競争参加資格確認申請書等作成時のチェックリスト

- 競争参加資格確認申請書等は公告日に対応した最新版ですか。
- 競争参加資格申請書等は、年度途中において改訂等を行うことがあるので公告日に対応した最新版により作成し提出して下さい。改訂等あればその都度ホームページに掲載します。
- 「ホームページ> 公売・入札情報> 約款約款・仕様書・入札者注意書・申請書等」

#### □ 電子入札システムによる送信手続きをしましたか。

○ 電子入札システムによる申請で、競争参加資格確認申請書等の合計ファイル容量が3MBを越える場合は、郵送等(配達証明のできるものに限る)、電子メール(送信容量は7MB以内とする。)または持参により提出(電子入札システムとの分割は認めない)して下さい。但し、次の内容を記載した書面(様式自由)を電子入札システムにより、技術提案書等(価格競争入札対象業務は申請書等)として送信する手続きが必要です。

電子メールの提出先: [shikoku\\_shinsei@maff.go.jp](mailto:shikoku_shinsei@maff.go.jp)

- ① 郵送等、電子メールまたは持参する旨の表示
- ② 郵送等、電子メールまたは持参する書類の目録
- ③ 郵送等、電子メールまたは持参する書類のページ数
- ④ 発送年月日、会社名、担当者名及び電話番号

○ 電子メール又は郵送、持参により提出する場合、電子入札システムにより上記①②③④の送信手続きはしましたか。申請手続きについては、チェックリスト5ページを参照願います。

なお、郵送又は持参により提出する場合は、競争参加資格確認申請書(別記様式1)、業務競争参加資格確認資料(表紙1)、技術提案書(表紙2)には押印して下さい。

【郵送、持参する場合は、四国森林管理局総務企画部専門官(契約適正化)宛て、(価格競争入札対象業務にあつては、対象業務の発注者)宛て提出期間最終日必着で提出して下さい。】

### 【紙入札について】

#### □ 紙入札で入札に参加しようとする場合、発注者の承諾を得ましたか。

○ 電子入札対象案件であっても、次の事由に該当し発注者の承諾を得た場合には、電子入札によらないで紙入札で入札に参加できます。

#### 入札参加者側にやむを得ない事由があると認められる場合

- ・ 電子証明書(ICカード)が失効、閉塞、破損等で使用不可能となり、再申請(準備)中の場合等
- ・ 代表者の変更に伴う変更申請中の場合
- ・ 電子入札導入の準備を行っているが、間に合わなかった場合

○ 競争参加資格確認申請書等の提出は、事前に承諾を得た承諾書を添付して、郵送等(配達証明のできるものに限る)または持参により提出することになります。(入札説明書5.(1))

○ 紙入札方式参加承諾願様式は、ホームページ> 公売・入札情報(入札・調達に関する注意)> 電子入札システム運用基準(8頁)をご覧ください。

○ 紙入札方式による場合、競争参加資格確認申請書(別記様式1)、業務競争参加資格確認資料(表紙1)、技術提案書(表紙2)には押印して下さい。

#### 紙入札方式参加承諾願様式について

- ・ 局ホームページ> 公売・入札情報(調達・入札に関する注意)> 電子入札システム運用基準(8頁)をご覧ください。

#### □ 競争参加資格確認「申請書」(別記様式1)と「資料」(表紙1、別記様式2~3)及び「技術提案書」(表紙2、別記様式4~10)は別々(個々)に作成しましたか。

○ 「申請書」と「資料」及び「技術提案書」は、電子入札システム申請書画面の添付フィールドにそれぞれに添付し提出することとなっています。(入札説明書5.(1).②)

「申請書」「資料」「技術提案書」は、別々(個別)に作成し、それぞれに通し番号を付して下さい。(例:総ページ数が12ページで個のページが3ページの場合[3/12])

○ 郵送又は持参による場合も同様に作成し提出して下さい。

競争参加資格確認申請書、○○○○業務競争参加資格確認資料

競争参加資格確認申請書等の申請先は発注者宛てとなっておりますか。

○競争参加資格確認申請書、業務競争参加資格確認資料、技術提案書の申請先は、入札公告等に記載された発注者名を記載して下さい。

・局発注は、支出負担行為担当官 四国森林管理局長宛て、署(所)発注は、分任支出負担行為担当官 ○○森林管理署長(森林管理事務所長)宛てとなります。

○競争参加資格確認資料に添付する「資格確認通知書」については、公告日の年度に即した資格確認通知書の写しを添付して下さい。(特に、2年毎に行う一般競争(指名競争)参加資格審査の申請年度には留意願います)

(別記様式2)同種業務の施工実績

入札説明書に示めされた対象期間の同種業務ですか。(入札説明書4.(7))

施工実績が確認できる資料及び業務成績評定通知書の写し(森林管理局等の発注した業務であって成績評定された業務の場合)を添付しましたか。(入札説明書5.(3))

○同種業務として、入札説明書等に定義された業務以外の実績を添付していませんか。(同種業務の施工実績は、最終契約金額100万円以上)

(同種業務とは、発注者が入札説明書等に定義にした業務とする。)

○同種業務の施工実績として記載した業務に係る契約書の写しについては、当該業務が、業務実績情報サービス(以下「TECRIS」という。)に登録(完了登録の実績とする)されており、その内容が同種業務の施工実績として確認できる場合には、TECRISを提出し、契約書の写しを提出する必要はありません。TECRISの登録なき業務等で業務内容が確認できない場合については、契約書の他に業務計画書等の当該業務の内容(競争参加資格確認資料(別記様式2)業務の概要等の業務内容欄に記載した事項(数量)等)を証明できる書類を添付して下さい。

必要書類の添付が無い場合は、入札に参加できないことがあります。(入札説明書5.(3)③)

なお、競争参加資格確認資料(別記様式2)と(別記様式3)の業務が同一である場合は、どちらか一方に添付(業務成績評定書含む)して下さい。

○TECRISについて、判読が困難となる場合があるので縮小版での提出は不可とします。

(別記様式3)配置予定技術者の状況

配置予定技術者の業務経験は、入札説明書に示めされた対象期間の同種業務ですか。(入札説明書4.(9).イ、価格競争入札においては入札説明書4.(8).イ)

配置予定技術者が、管理技術者、照査技術者又は担当技術者として経験した業務が確認できる資料及び業務成績評定通知書の写し(森林管理局等の発注した業務であって成績評定された業務の場合。なお、担当技術者は成績評定がなされていないので不要)及び資格証等の写しは添付しましたか。(入札説明書5.(3))

○同種業務として、入札説明書等に定義された業務以外の実績を添付していませんか。(同種業務の施工実績は、最終契約金額100万円以上)

(同種業務とは、発注者が入札説明書等に定義にした業務とする。)

○配置予定技術者の同種業務の従事実績として記載した業務に係る契約書の写しについては、当該業務が、TECRISに登録されており、その内容が同種業務への従事実績として確認できる場合には、TECRISを提出し、契約書の写しを提出する必要はありません。TECRISの登録なき業務で業務内容が確認できない業務については、契約書の他に業務計画書等の当該業務の内容(競争参加資格確認資料(別記様式3)業務の概要等の業務内容欄に記載した事項(数量)等)を証明できる書類を添付して下さい。(入札説明書5.(3)③)

同種業務への従事実績が確認できない者は、配置予定技術者として承認しません。

本店、支店又は営業所の所在の有無

四国4県(四国森林管理局管内)に、本店、支店又は営業所が所在していますか。(入札説明書4.(6))

○四国内の本店・支店等で四国森林管理局長より一般競争(指名競争)の資格確認通知を受けている者を除き、支店又は営業所の所在が確認できる資料を添付して下さい。

## 技術提案書等作成時のチェックリスト

### 技術提案書

技術提案書(表紙2)に提示されている提出書類(別記様式4～別記様式10)に記載もれ等はありませんか。

#### (別記様式4)業務実施体制

業務実施体制(別記様式4)は作成しましたか。

○業務実施体制は、業務の実施工程別記様式(9-3)業務工程に掲げた業務が適切に実施できる体制となっていますか。

○別記様式4に係る予定技術者の資格証(写)の添付は不要です。

(照査技術者については、「森林整備保全事業の調査・測量・設計等を外注する場合の取扱要領の制定について」(平成7年4月1日付け7林野治第1078号林野庁長官通達)別表「技術者の資格区分」における設計業務等の技術者の名称の主任技師と同等以上の技術経歴を有する者となりますので留意願います。)

#### (別記様式5)予定技術者の経験及び能力

予定管理技術者の資格を証明する資料(資格証写し等)を添付しましたか。

予定管理技術者の過去15年間の同種業務における管理技術者等(様式5(注1))としての実績(最大3件)を記入し、当該業務が森林管理局等の発注した業務にあつては、業務成績評定通知書(様式5(注3) 当該業務に係る成績評定をされた技術者の場合)の写しを添付しましたか。

予定管理技術者の継続教育に対する取り組み状況について、取得単位を証明する資料を添付を添付しましたか。(前年度取得単位のみ有効)

予定管理技術者の現在の手持ち状況を記入しましたか。

○業務実績は最終契約金額100万円以上の森林土木事業に関する同種業務とする。  
(同種業務とは、発注者が入札説明書等に定義した業務)

○継続教育CPD等の取り組み状況の証明は、前年度(申請直近1年間ではありません)の証明が必要です。前年度の学習履歴が確認できない証明は無効となります。

○予定管理技術者の現在の手持ち状況について、申請の締切日時点において管理技術者として従事している契約金額が1千万円以上の全て(発注機関を問わず)の受注業務を記載して下さい。(様式5(注5))

#### (別記様式6)予定技術者の過去2年間の管内の同種業務成績

指定された期間(前年度より過去2年間)の同種業務の成績ですか。

○四国森林管理局所掌の最終契約金額100万円以上の森林土木事業に関する同種業務とする。  
(同種とは、発注者が入札説明書等に定義した業務)

○様式6に記載した評定点を証明する業務成績評定通知書の写しを添付して下さい。

#### (別記様式7)低入札価格調査等対象業務の有無等について

指定された期間(前年度より過去2年間)に低入札又は低入札価格調査を受けた受注業務はありませんか。「有」の場合、必要事項を記載して下さい。

#### (別記様式8)企業の過去2年間の管内の業務成績

指定された期間(前年度より過去2年間)の四国森林管理局管内の業務成績ですか。

○様式8に記載した評定点を証明する業務成績評定通知書の写しを添付して下さい。

○局総務企画部専門官(契約適正化)より過去2年間の管内の直轄業務成績の確認書が送付された者(過去2年間の直轄業務実績が1件のみの者を除く)については、同確認書写しの添付をもって別記様式8の提出に代えることができます(様式8の提出は不用です)。

## 業務の計画

(別記様式9-1. 2. 3)業務の実施方針

- 実施方針は、業務目的や内容、調査地域の特性、**法令遵守**(保安林における制限等)を踏まえて作成しましたか。(入札説明書7.(2).3).ア)
- 実施手順(業務フロー図等)は、入札公告等に表示された業務内容を踏まえて作成しましたか。
- 工程計画については、業務フロー図と連動(実施時期、回数等)していますか。

○実施方針については、入札説明書及び閲覧図書等を熟読の上、必要な事項を具体的に記載して下さい。

○実施方針(9-1)は、業務目的、内容、調査地域の特徴、**法令遵守**(保安林における制限等)を個々に勘案のうえ、作成して下さい。

**必要事項の記載漏れ等がある場合、評価の対象となりません。**

(様式9の実施方針(9-1)の(注)書きを踏まえて具体的に簡潔に記載する)

○実施方針(9-2)は、業務フロー図と整合性がとれていますか。

○工程表は主な作業について作成し、主たる担当技術者の配置(様式4の業務実施体制と連動していること)について備考欄に記載して下さい。(入札説明書7.(2).3.ウ)

## 技術提案

(別記様式10)技術提案

- 技術提案書に関する事項は、以下のア～ウについて、業務の内容や調査の対象となる地域・箇所の特性を踏まえて作成しましたか。

### ア 総合的なコストに関する事項

- ・ 工事コストの縮減、維持管理費や更新費を含めたライフサイクルコスト等の縮減について具体的に記載して下さい。

### イ 工事的目的物の性能、機能又は調査の精度に関する事項

- ・ 工事的目的物の初期性能の維持、耐久性の向上又は調査精度を高めるための方策(新技術・工夫等)について具体的に記載して下さい。

### ウ 社会的要請に関する事項

- ・ 環境の維持、施工への配慮、特別な安全対策、省資源・リサイクル対策についての提案を、調査箇所の環境条件等を踏まえ、具体的に記載して下さい。

「作成要領」

#### ①総合的なコストに関する事項

##### ○工事コストの縮減

工事コストの縮減に繋がる工法の選択や設計における工夫等について、現地の環境条件等を踏まえて記載(工夫の目的及び得られる効果等が判読できること)する。

##### ○維持管理費や更新費を含めたライフサイクルコスト等

工事的目的物の維持管理費や更新費の低減に繋がる工法、新技術の導入等について、その目的及び得られる効果等を記載する。

#### ②工事的目的物の性能・機能又は調査の精度に関する事項

##### ○工事的目的物の初期性能の持続性、耐久性等の性能・機能

工事的目的物の初期性能、耐久性等の維持・向上に繋がる工法、新技術の導入等について、その目的及び得られる効果等を記載する。

##### ○調査精度の維持、向上のための取組等

調査精度の維持、向上のための調査方法の工夫や新技術の導入について、その目的及び得られる効果等を記載する。

#### ③社会的要請に関する事項

##### ○環境の維持:水質汚濁、木製構造物、生物多様性、景観保全等に対する取組

事業対象地の地形、地質、環境条件等を踏まえ環境の維持又は調和した工事的目的物等への転換等について記載する。

##### ○施工への配慮:工期・施工方法、既設構造物等施工上の取組

工期・施工方法、既設構造物の保全等施工上配慮すべき取組について記載する。

- 特別な安全対策が必要な場合の取組  
特別な安全対策(第三者への配慮、特殊な地形・地質等における配慮等)が必要な場合の取組について記載する。
- 工事に係る現地発生材利用、省資源・リサイクル対策への取組  
工事に係る現地発生材の有効利用、省資源・リサイクル対策への取組について記載する。

※技術提案書等の提出がない場合(必要書類の提出不足等を含む)又は技術提案書等の記載内容が適正と認められない場合は入札に参加できません。(入札説明書5.(6))

## その他

※別記様式2、別記様式3に係る同種業務の考え方について

治山事業における山腹工及び溪間工の測量設計業務とあれば、山腹工、溪間工の両方の業務実績が必要です。

治山全体計画調査業務又は治山流域別調査業務とあれば、いずれかひとつの業務実績で構いません。

(治山全体計画調査業務)又は(治山流域別調査業務)又は(治山事業における山腹工及び溪間工の測量設計業務)とあれば、治山全体計画調査業務か治山流域別調査業務のどちらか、あるいは治山事業における山腹工と溪間工の両方の測量設計業務の実績が必要となります。

治山事業における山腹工及び溪間工の測量設計業務及び林道等の開設に係る測量設計業務とあれば全ての業務の実績が必要となります。

又はの場合どちらか一方の業務実績が必要であり、及びの場合両方の業務実績が必要となりますので同種業務の実績等の提出にあつては上記を参考にして下さい。

【電子メール、郵送、持参にて送信する場合の電入システムへ入力する目録の掲載例】

今後、電子メール、郵送、持参にて送信する場合は、以下を参考にして下さい。

平成28年〇月〇日

支出負担行為担当官  
四国森林管理局長 殿

住所  
商号又は名称  
代表者氏名

競争参加資格確認申請書等の提出について

1 平成28年〇月〇日付けで公告のあった〇〇〇〇〇〇〇業務の申請書、資料及び技術提案書について送信容量を超えるため(電子メール、郵送、持参)にて提出させていただきます。

- 2 提出書類目録
- ① 競争参加資格確認申請書
  - ② 競争参加資格確認資料
  - ③ 技術提案書

申請方法を選択  
(○で囲む)する。

- 3 提出書類のページ数
- ① 競争参加資格確認申請書.....○ページ
  - ② 競争参加資格確認資料.....○ページ
  - ③ 業務技術提案書.....○ページ

- 4 送信年月日、会社名、担当者名及び電話番号
- 送信年月日  
会社名  
担当者名  
電話番号

提出書類の記入もれ、誤字・脱字等はありませんか。今一度確認を！！  
各様式は公告日に対応した最新版を使用して下さい。  
(ホームページ>公売・入札情報>約款約款・仕様書・入札者注意書・申請書等)

障害発生時及び電子入札システム操作等の問い合わせ先は下記のとおりです。  
農林水産省電子入札ヘルプデスク 受付時間：9時から16時  
電話：048-254-6031 FAX：048-254-6041  
e-mail：help@maff-ebic.go.jp

電子入札における不測の事態への備え  
@電子入札による入札書受付開始から受付締切までの期間は、入札書の締切日時前の3営業日を標準としています。ICカードの紛失、破損、端末の不具合等によるトラブルを考慮し余裕を持って応札願います。